

学校からの情報提供の充実に 関する調査研究

学校評価推進事業
ブロック別協議会@福岡

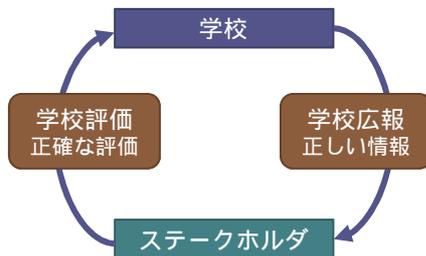
国際大学GLOCOM

情報提供は十分？

- 学校側の言い分
 - 学校だよりを配布しているから
 - 保護者からは特に何も言わないから
- 保護者の言い分
 - 子どもがプリントを持ち帰ってこない
 - 学校で何しているのか分からない
 - よく分からないのに評価しろと言われても...

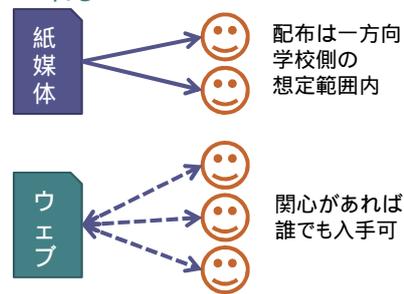
研究主題

- 学校広報
School Public Relations
 - 意義ある学校評価(問題解決)には、十分な情報提供が必要



ステークホルダの説明は表2を参照

- 学校ウェブサイト
School Website
 - 紙媒体と比較して、コスト、簡便性、即時性、公益性等に優れる



基本的な考え方

表1：学校・保護者・地域間の連携構築段階

	反発	信頼	協働
学校態度	消極的 情報開示	積極的 情報開示	保護者地域 との協働
情報を得る 手だて		日常の地味でベタな情報の提供	学校評価
最も有効な 情報源	マスメディア 噂	学校からの日常的 情報提供	学校評価 報告
ステークホルダ の態度	不信と攻撃 または無関心	学校への好印象 と信頼	問題解決への 建設的協働

学校広報(school public relations)とは

...ではない。

- マスメディアの取材対応をすること
- 売り手にとって都合の良いブランドイメージを意図的に売りつけること
- 年に数回のイベント
- 現場とは関係のない広告代理店に多額の広告費を支払って行うこと

...である。

- ステークホルダ(Stakeholders)との関係を良好に保つこと
- 学校の現状をステークホルダに誠実に伝え、正しく評価してもらうこと
- 継続的日常的な営み
- 当事者が業務の一環として行うこと

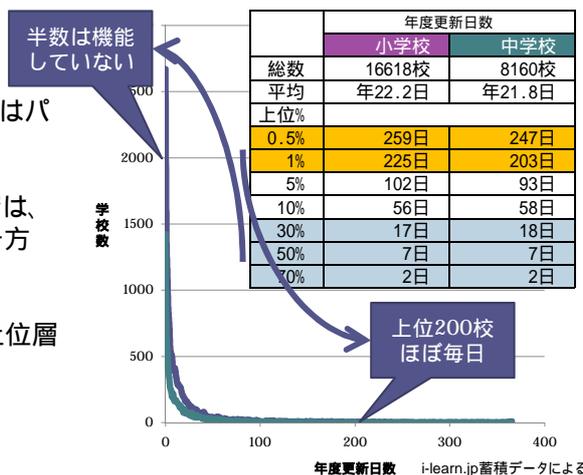
日本：ICTを軸とした情報提供 実態と課題

日本：学校ウェブサイトの活動状況

学校ウェブサイトの活動状況はパレート法則(ロングテール)

2006年度の更新日数統計では、半数以上は機能していない一方で、上位200校は毎日更新。

2001～2006年の比較で、上位層の伸びが著しい(資料参照)。



国内学校ウェブサイトの事例

佐賀県：伊万里市立黒川小学校

- J-KIDS大賞2007ベスト8
- 児童数170名
- 更新率100%を維持

- 学校ポータルとして充実
- 学校サポーター事業の一部に保護者のHP支援あり
- 教職員・保護者・地域/児童/HP管理者/給食の4本のブログを並行運用



北海道：斜里町立峰浜小学校

- J-KIDS大賞2007受賞校
- 児童数22名
- 更新率100%を維持

- 当初は山村留学募集のためにウェブサイトを開設
- 教職員/児童/保護者/トピック5本のブログを並行運用
- コミュニティを中心とした多様な情報発信と蓄積



共通して得られるコメント

- 保護者の好意的反応（表3 参照）
 - 学校の様子が手に取るように分かる（情緒）
 - 学校だよりや手続きがいつでも分かる（機能）
 - 校長の姿勢や考えがよく分かる
- 教職員の情報共有手段
 - タイムリーな情報提供が可能
 - 振り返りに役立つ
 - 複数の人々を巻き込むには
技術的・組織的課題を乗り越える必要（表3）

自治体単位でしてみると

自治体別2006年更新日数順位

- 高い更新実績を誇る自治体では教育長・教育委員会による情報発信の支援が行われている。
- ブログ利用の自治体は概して数値が高い

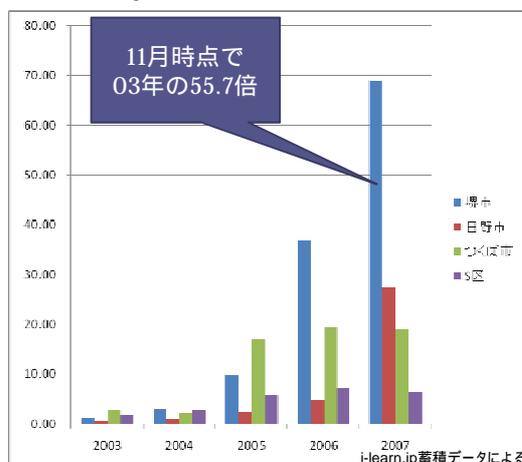
「良い話題に限らず、住民に対して誠実に情報提供することで、学校を信頼してもらい、関心をもってもらう」
高浜市教育長

自治体名	学校数	HP数	年間平均更新日数	備考
高浜市	7	7	265.7	PB
小牧市	25	25	124.5	FB
一宮市	61	61	119.1	PB
大口町	5	5	116.2	FB
野々市町	7	7	110.9	
斑鳩町	5	4	98.2	
箕面市	20	20	96.8	
小矢部市	10	10	93.7	

i-learn.jp蓄積データによる
PBは部分的ブログ利用 FBはサイト全体にブログを利用

教育委員会での CMS(Content Management System)導入事例

- 1校あたり年間更新日数
- 学校用CMSパッケージまたはフリーシステムの構築
- ブログと同様の更新操作
 - HTML等知識は必要なし
 - フォーム記入・投稿
 - 管理職の承認決裁機能



国内調査のまとめ

- 更新率で活動状況が把握可能
- 網羅的情報提供と高頻度更新が学校ウェブサイトの意義
- 学校の身近な(地味でベタな)情報提供を高頻度で行い、保護者や関係者から好意的評価を得ている。
- 情報発信の主体は学校。教育委員会側は主にサポート
- ブログを利用し、技術的困難や手間の課題を克服。
- ブログ導入は高頻度更新の必要条件だが、十分条件ではない。
- 現状では、学校評価プロセスと学校サイト活動との関連性は必ずしも高くない。
- 校務ICT化が遅れているため、学校サイト活動に偏っている

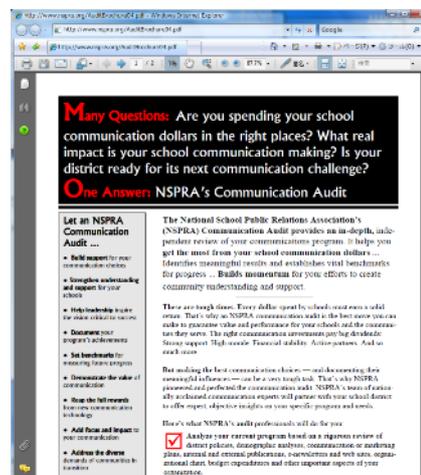
米国： 学校広報理論と支援体制

米国事例（主に学校広報）

- 学校広報は1930年・1960年代から米国を中心に盛んに研究
- 学校税と教育委員会意志決定によって運営 = 学校選択・安定税収を得るために必要
- 教委・学校経営の重要課題のひとつ
- 教育委員会のPRチーム(担当官)が対外・対内コミュニケーションの支援
- 規模が小さい教委は外部団体が監査や支援を行っている。
- ログマーク・電子メール・ウェブサイト・CATV・マスメディア等、複数手段を戦略的に用いることが必要。
- 特にウェブサイトは地域の意志決定のための外部透明性、説明責任確保の意義がある。
- 各学校のウェブサイト運用が困難なのは日本と同じ状況

NSPRA: 全米学校広報連盟

- 1935年設立
- 学校広報の理論構築および総合的展開
- 教育委員会・管理職向け広報資料・教育カリキュラム
- NSPRA Gold Medallion Award
- APR: 広報官認証制度
- 教委向け監査支援制度



Prince William County School District

- バージニア州 マナサス近郊
- 学校83校
- 学生68,458 教職員 12,043
- 支出\$719,686,000/約813億

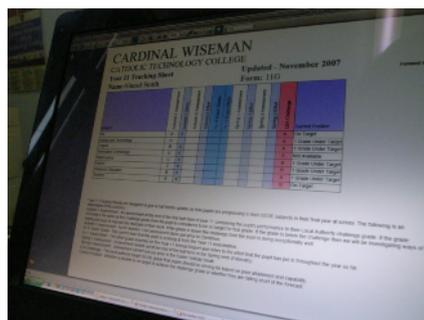
- 教育委員会サイトが充実
- E-News/Podcasting/
CATV/自動電話メッセージ
システム等も合わせて利用



英国： 学校広報のシステム要件

Cardinal Wiseman Catholic Technology Collage

- 英国バーミンガム郊外
- 中等学校 生徒数650
- 学校ウェブサイト
 - 一般向け情報
- VLE(Virtual Learning Env.)
 - 学生・教員用システム
- e-Portal
 - 学生・保護者向けシステム
 - 出欠・成績・所見
- 必ずしも関心の高くない保護者を学校に引きつける方法
- 生徒の出席率向上



ICTシステム（国内外）

- 紙媒体は依然必要だが、ICTの重要度は年々高まっている。
- ICTは、情報集約・省力化・即時性確保のために必須。
- 対象と目的に応じて、複数の手段方法を使い分ける。
 - 情報共有と説明責任のためのウェブページ
 - 児童生徒の出欠や成績状況をタイムリーに伝えるウェブサービス
 - ダイレクトに情報提供するボイス・メール同報システム
- 出欠・成績管理システムとの連動など統合化の動き
- 各学校に情報更新の余裕がないのは、日本に限らずUS,UKでも同じ課題
- CMS(Content Management System)を用いた場合の省力化は学校広報の促進に役立つ

まとめ

まとめ

- 学校広報は学校改善(学校評価)を民主的に進める条件
- 教育委員会と学校双方に必要
- 総合的広報戦略とスタッフ、あるいは育成用カリキュラム整備が課題
- 紙媒体に加え今後はICTによる情報提供が重要
- 対象と目的に合わせて、手段は複数組み合わせることが必要(表4参照:あれかこれかではない)
- ステークホルダと学校との関係構築には、学校ウェブサイトの活動が有効
- ブログ等を用いることで省力化と頻度向上が期待できる

表4：ステークホルダとの情報共有手段

	学校が認識可能なステークホルダ		学校が認識不可能なステークホルダ	
	保護者	地域（共同体）	公衆・公共	
従来型のコミュニケーション手段	直接対話 個人宛書簡	印刷広報物 学校だより	マスメディア 自治体広報（いずれも学校は直接制御不能） CATVローカルプログラム	
ICTを用いたコミュニケーション手段	E-ニュースレター E-ポートフォリオ メール同報	学校ウェブサイト Podcasting		学校一覧 学校検索
統合システム	校務・成績管理システム	CMS (Content Management System)		オンラインデータベース
情報提供内容	出欠履歴・試験成績など	毎日のニュース、学校ガイド、行事予定、校長メッセージ、...	学校要覧 学校監査報告	
目的と目標	学校に対する保護者の信頼獲得	地域との良好な関係の維持	学校に対する好意的評価の促進	一般情報の提供
	保護者への不可欠な情報提供	建設的問題解決のための正確な学校評価	アカウンタビリティ（説明責任）	

参考情報

- i-learn.jp 「日本の学校」
 - <http://www.i-learn.jp/>
- 全日本小学校ホームページ大賞（J-KIDS大賞）
 - <http://www.j-kids.org/>
- 佐賀県伊万里市立黒川小学校
 - <http://www2.saga-ed.jp/school/edq14305/>
- 北海道斜里町立峰浜小学校
 - <http://www6.ocn.ne.jp/~minehama/index.htm>